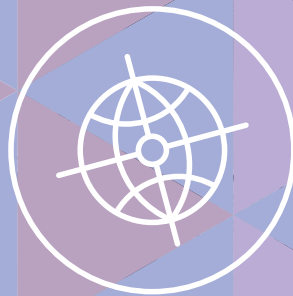


都市戦略



LEADING CITY TOKYO

国際競争力、女性や若者の活躍、まちづくり、教育、都市外交・・・。
幅広い領域で都市力を進化させ、東京は日本の原動力から世界の原動力へと
変貌しています。そんな東京が世界をリードしていくビジョンをご紹介します。



政 策 指 針

15

日本の成長を支える国際経済都市の創造

世界で一番ビジネスのしやすい都市。東京がそう呼ばれる日を目指し、
世界から資本・人材・情報が集まる国際ビジネス環境を整備します。
東京発のイノベーションがグローバル市場をリードすることで、
ビジネスの世界における東京のブランド力を確立していきます。

東京の未来

▶ 世界が注目する国際ビジネス環境

国家戦略特区制度を生かし、10地区の国際的ビジネス拠点プロジェクトを展開します。グローバルなビジネス環境の整備を促進し、多くの外国企業を誘致することで、日本企業との交流が進み、新ビジネスが活発に生み出されます。

▶ 10地区の国際的ビジネス拠点プロジェクト



- 1 大手町(常盤橋)(金融・ビジネス交流)
- 2 大手町一丁目(国際交流)
- 3 日比谷(文化芸術・ベンチャー育成)
- 4 八重洲(バスターミナル・ビジネス交流)
- 5 品川駅周辺(リニア開業・国際拠点整備)
- 6 竹芝(コンテンツ産業育成)
- 7 虎ノ門(地下鉄新駅)
- 8 六本木(複合MICE・外国人居住)
- 9 臨海副都心有明(外国人対応サービスアパートメント)
- 10 羽田空港跡地(ビジネスマッチング)

▶ アジア地域の業務統括拠点・研究開発拠点を設置する外国企業50社以上を特区内に誘致(2016年度)

▶ ニューヨーク、ロンドンと並ぶ国際金融センターへ

経済の血液である金融。東京が国際的な金融センターとなり、東京ひいては日本・アジアの経済を活性化します。



▶ 国際的なライフサイエンスビジネス拠点へ

高付加価値型である創薬をはじめとしたライフサイエンス分野。産・学・公の連携を進め、競争力を強化するプロジェクトを進行していきます。



▶ 米国・英国と肩を並べる起業都市へ

若者、女性、高齢者など幅広い層の起業を支援し、経済を活性化していきます。

▶ 都内開業率※1



▶ 中小企業の成長産業参入や海外展開により新たなイノベーションを創出

ロボット、医療機器などの成長産業への参入に向けた技術・製品開発や、海外展開に向けた販路開拓等、中小企業の取組を多面的にサポートしていきます。



事 項	目 標 年 次	目 標 値
都の支援による中小企業の成長産業分野への参入	2024年度	1,000件
都の支援による中小企業の海外展開の実現	2024年度	2,000件

※1 雇用保険事業月報・年報(厚生労働省)における当該年度に雇用関係が新規に成立した事業所数を前年度末時点の雇用保険事業適用事業所数で除したものの。





政 策 指 針

16

都心等の機能強化による 東京の都市力の更なる向上

国際交流拠点としてのビジネス活性化や、観光拠点としてののにぎわいの創出、さらには文化拠点として最先端カルチャーの発信など、様々な機能が東京には求められます。そこで、拠点駅周辺、都市部や臨海部などで、多様な地域のまちづくりを進めます。

東京の未来

▶ まちづくりで進化する東京

拠点駅の整備

都心のターミナル駅は、ビジネスや観光、にぎわいの拠点としての機能を高めてきました。これからは、世界一を目指す都市として海外から人を呼び込む拠点とすべく、国内外へのアクセス向上や周辺のまちづくりと一体となった回遊性の向上など、拠点駅のポテンシャルを更に生かした取組で東京の魅力を高めていきます。



都市再生

地域のポテンシャルを最大限に引き出す上で、都市機能の集積は不可欠です。そこで、公共施設やまちの機能を一体的に再編・整備し、機能を高密度に集積していきます。



臨海部のまちづくり

交通インフラ等の基盤整備が進み、観光や水辺のレクリエーション拠点としての役割も期待される臨海部。2020年大会とその先を見据え、日本の成長をけん引する国際戦略拠点として、魅力的なまちづくりを進めていきます。





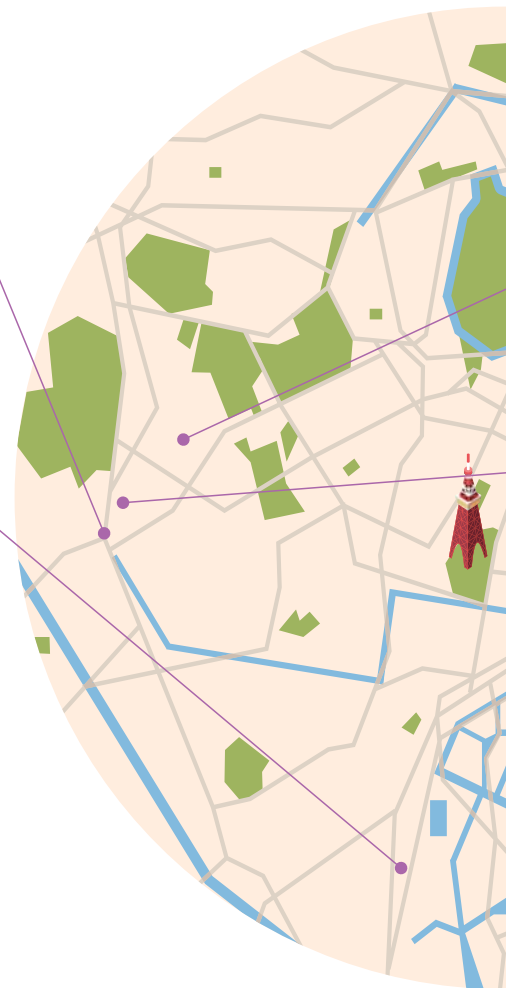
▶ 世界から人が集まる場として進化する拠点駅

渋谷駅

谷地形に位置し、公共交通が多層階に分散した渋谷駅。縦方向の乗換動線と、駅と周辺市街地を結ぶ歩行者デッキを組み合わせ、歩行者が回遊しやすいまちになります。また、渋谷川に新たな遊歩道が整備され、潤いと安らぎのある水辺空間が生まれます。

品川駅

羽田空港に近く、リニア中央新幹線の始発駅となる品川駅。国内外への広域アクセスに優れた立地を生かし、最先端のビジネス環境や国際文化が交流するMICE※1拠点が生まれるとともに、水や緑、風を感じられる環境都市としても進化を遂げます。



※1 企業等の会議(Meeting)、企業等の報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際機関等が行う国際会議(Convention)、イベントや展示会等(Event/Exhibition)の総称。

▶ まちのポテンシャルを引き出す都市再生

北青山三丁目地区

老朽化した都営アパートを高層集約化して建て替えるとともに、都心にありながら緑地も多い地域で、文化・流行の発信拠点となるまちづくりが進められます。

有楽町地区

民間と連携し、旧都庁舎跡地を活用してMICE機能などを充実。周辺との連携も強まり、にぎやかで回遊性の高いまちになります。

竹芝地区&渋谷地区(宮下町)

竹芝地区では、コンテンツ産業のビジネス拠点が、渋谷地区(宮下町)では生活文化やファッション産業などの発信拠点ができ、ともに東京の国際競争力アップに貢献していきます。

▶ 国際戦略拠点としてにぎわう臨海部

豊洲地区

首都圏の食を支える豊洲新市場が開場し、「千客万来施設」もオープン。築地のにぎわいを継承・発展させたまちが誕生します。

臨海副都心地区

環状2号線の開通や大型クルーズ客船に対応した客船ふ頭の完成により、充実したインフラを生かしたビジネスやMICE・国際観光の拠点となります。





政 策 指 針

17

若者や女性、高齢者など 全ての人が活躍できる社会の実現

雇用や就業は、生活基盤を支える上で重要な役割を果たします。

年齢や性別などにかかわらず、全ての人が希望を持って働くことができるよう、
非正規から正規雇用への転換をはじめ、安定した雇用を実現していきます。

また、企業でのワーク・ライフ・バランスの取組を支援するなど、
働きやすい環境づくりを広げていきます。

東京の未来

▶ あらゆる分野で自らの能力を存分に発揮する若者たち

中小企業と若者の交流会やインターンシップの推進、早期離職の防止に向けた高校生の就業意識の啓発などにより、若者の就業を促進します。また、求人と求職のニーズのミスマッチ解消を図るため、セミナーと実践的な職場実習等を組み合わせたプログラムなどにより、若者の正社員化を支援します。

▶ 若者(うち20～34歳)の有業率



▶ 正規雇用化の促進

不本意にも非正規雇用となり求職活動を行っている人々を2022年までに半減させるとともに、都自らの対策で2017年度までに1.5万人を正規雇用化します。

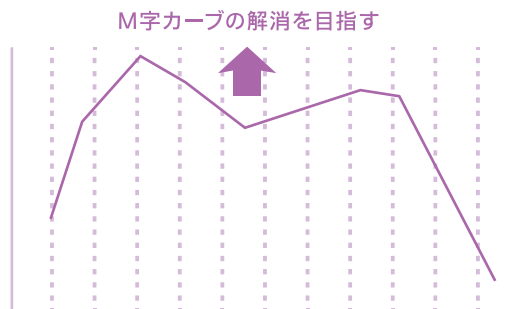
▶ 求職活動を行う不本意非正規を半減



▶ 女性の活躍を、経済活性化の原動力に

女性の有業率は、結婚・出産期にあたる年代で一旦低下し、子育てが落ち着く時期に再び上昇するM字カーブを描いています。この解消を目指し、女性の職域拡大や管理職登用の支援、「女性しごと応援テラス」での再就職支援、女性起業家への融資や経営サポートによる起業促進など多くの取組を推進します。

▶ 年齢別 女性有業率



▶ 女性(うち25~44歳)の有業率

2012 71.3% ▶ 2022 75%



▶ 女性の職域拡大



▶ 管理職登用を促進



▶ 企業内託児ルームの設置



▶ 家事援助等の生活支援サービス



▶ 再就職支援(女性しごと応援テラス)



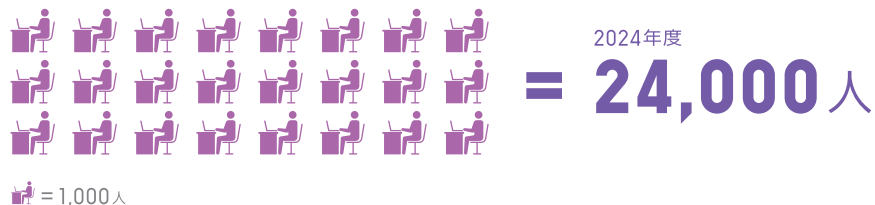
▶ 起業支援



▶ 高齢者の働く意欲が、仕事につながる

高齢者が働きたい、と感じる理由は様々です。経済的な理由、健康のため、社会貢献がしたい、地域とのつながりを持ち続けたい…。そんなニーズに応えられるよう、中小企業への職場体験やシルバー人材センターの機能拡充により、高齢者の就業を支援します。

▶ 都の支援による就業者



▶ ワーク・ライフ・バランスの充実

長時間労働や家事、子育て、介護など、仕事と家庭・地域生活の両立には様々な壁が存在しています。そこで、シンポジウムなどを通じた意識啓発はもちろん、企業に対する社内制度の整備支援や融資制度を展開することで、男女ともにワーク・ライフ・バランスを充実していきます。





政 策 指 針

18

東京、そして日本を支える人材の育成

グローバル化をはじめ、変化の激しい時代において教育に求められるもの。

それは確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むことです。

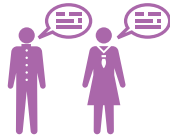
国際社会を強く生き抜く力を持った多くの若者たちがグローバル社会で活躍していきます。

東京の未来

▶ 世界で通用するグローバル人材の育成

高い英語力と豊かな国際感覚を有した若者が世界で活躍します。また、児童・生徒の学力だけでなく、体力も向上します。

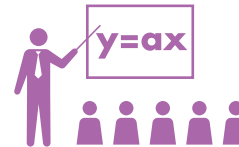
- ▶ 高校卒業段階で
日常生活に必要な英語力
(英検準2級程度)を習得



- ▶ 都立高校生の50%以上が
グローバル関係の仕事等を希望



- ▶ 全国学力・学習状況調査での
下位層を全教科30%未満まで減少



- ▶ 児童・生徒の体力をピーク時の
昭和50年代まで向上



▶ 社会的・職業的自立を支えるキャリアビジョン

子供たちが人を思いやる気持ちや規範意識を身につけるとともに、自らの力で未来を切り拓いていきます。

- ▶ 将来について目標を持っている都立高校生

2024年度

80%以上





政 策 指 針

19

2020年大会の成功と 東京の発展に寄与する都市外交の推進

21の海外都市と協力関係がある、東京の都市外交。

今後は東京の国際的なプレゼンスを高めつつ、

海外都市と学び合いながらWin-Winの関係を築き上げ、

都民生活の質の向上につなげていきます。

東京の未来

▶ 海外都市と友好関係を深め、学び合える関係を構築

主要な都市との交流を更に強化していくとともに、大都市に共通した課題の解決に協力して取り組んでいきます。また、海外に東京の魅力をきちんと発信していくこと、東京と海外都市との相互の交流・協力を担う人材を育成していくことにも力を入れていきます。そして、共に発展することを目指し、新たな都市外交へと進化していきます。



事 項	目 標 年 次	目 標 値
海外都市との友好・協力関係の構築	2020年	30都市と関係構築
都と海外都市間での職員等の往来	2024年度	250件(年間)





都市戦略 6 を知るキーワード

▶ 国家戦略特区制度の活用

政策指針 15

東京を世界で一番ビジネスのしやすい都市とするため、特区制度を活用し、外国企業等の法人設立手続の迅速化・簡素化、雇用労働センターの開設などの国際的ビジネス環境の整備や、医療・創薬イノベーション拠点の形成に取り組めます。

▶ 2020年大会による成長機会の獲得

政策指針 15

大会関連の調達にアクセスできる仕組みをつくり、2020年大会の経済効果を東京のみならず日本全国の中小企業に波及させていきます。

▶ 海外展開の更なる促進

政策指針 15

タイに東京都中小企業振興公社の現地支援拠点を開設し、更なる成長が見込まれるアジアの旺盛な需要を積極的に取り込んでいきます。

▶ エリアマネジメント活動の促進

政策指針 16

都内各地で魅力やにぎわいを高めていくため、民間活力を最大限に活用し、エリアマネジメントによるまちづくりを進めていきます。

▶ M字カーブの解消を目指す取組

政策指針 17

M字カーブとは、働いている女性の割合を年齢別にグラフ化したとき、20歳代後半と40歳代後半がピークとなる一方、結婚・出産期にあたる30歳代が谷になってしまう問題のことです。今後、女性の再就職をサポートする「女性しごと応援テラス」などの取組により、M字カーブの解消を目指していきます。

▶ 正規雇用化を積極的に支援

政策指針 17

個人の職務経験やスキルに応じた支援事業の展開や、正社員化に取り組む事業主を支援する都独自の助成金の創設などにより、正規雇用化を促進していきます。

▶ 学びの場を国際化

政策指針 18

外国人との生活体験や学習を通じて生きた英語を習得する「英語村（仮称）」、英語教育をはじめとした学校におけるJET等の外国人指導者の活用など、東京にしながら語学力や異文化理解を深める教育を展開していきます。

▶ 大都市共通の課題解決

政策指針 19

共通する危機管理、感染症、大気汚染、上下水道などに関する課題に対して、海外の大都市との実務協力を更に進めていきます。また、多くの都市が参加する会議等を通じ先進事例を学び合い、政策のレベルアップにつなげていきます。

▶ 学びの基礎を徹底

政策指針 18

一人ひとりの状況に応じた習熟度別授業、学習への意欲や関心を高めるICT環境整備を進め、児童・生徒の確かな学力の定着と伸長を図っていきます。